

長野の林業

平成28年9月10日発行
長野の林業編集委員会

No.320

もくじ



特集 第1回「山の日」記念全国大会を開催……………2

トピックス……………「山地災害防止キャンペーン」の取組……………4

佐々木健司さん(飯田市)が特用林産功労者表彰を受賞……………5

信州の木活用モデル地域支援事業・

昨年度の成果と今年度の取組……………6

お知らせ……………長野県さのこ品評会・さのこ料理コンクール……………7

トピックス……………森林環境教育と自然再生を目指した取組・

中部森林管理局 木曽森林ふれあい推進センター……………8

森の元気情報……………林業の若き担い手(その2) 長野県林業労働財団……………9

県森連だより……………10

長野県の木材市況……………12



皆さまのご支援、ご参加のもとに、初めての山の日を祝う

第1回 「山の日」 記念全国大会を開催



第1回「山の日」記念全国大会を開催

山と共に く人と自然がつながる社会へ

皇太子同妃両殿下並びに愛子内親王殿下の御臨席を仰ぎ、去る八月十日（水）・十一日（木・祝）と二日間にあたり、松本市において初めての国民の祝日「山の日」を祝つ記念全国大会を晴天のもと盛大に開催しました。

「信州四方山祭り」 八月十日・十一日 上高地及び松本城公園

山の国信州は、県歌「信濃の国」に謳われるとおり「四方に聳（そび）ゆる山々」に囲まれており、日常的に山の恩恵を感じています。信州四方山祭りでは、山の価値や魅力を観光客等の多くの方に伝えることを目的にアルプホルンの演奏や鈴木啓助教授（信州大学）による「山の恵み、そして山と海のつながり」と題する講演等を行いました。

また、「山の日」の象徴である「山の日帽」を国から実行委員会の会長（松本市長）が受け取り大会がスタートしました。



アルプホルンの演奏：松本城公園



「山の日帽」の受け渡し：松本城公園



北川桜ヨードルコンサート：上高地

「山の日」制定記念国際フォーラム 八月十日 あがたの森文化会館

「山」に関係の深い各国大使館や省庁の関係者などの方が集い、子どもや高齢者、外国人、障がいのある方、誰もが山に親しむ機会を得るための山岳ユニバーサルツーリズムのあり方について先進事例の発表や意見交換を行いました。

基調講演では、秋山哲男教授（中央大学）がノンステップバスの活用や食べ

やすい食材の工夫、バスと鉄道のホームを共有することによる移動負担の軽減など多くのヒントをいただきました。

また、英国大使館のグレッグ・マルハーン参事官からは、「英国では、山岳地帯を散歩する伝統があり、フットパスと呼ばれる歩道が縦横に走っており、バリアフリーで利用できるよう取り組んでいる」との報告がありました。事例報告等を受け中島副知事が「山岳ユニバーサルツーリズムのキーワードには『人の手』『道具』『勇氣』が挙げられており、この3つがあればどこにでも行けるという山岳のユニバーサルツーリズムを推進したい」とまとめました。



司会：萩原浩司さん 工藤夕貴さん



各国大使館関係者等による事例発表



各国大使館関係の来賓の方々

「歓迎レセプション」 八月十日 ホテルブエナビスタ

歓迎レセプションでは皇太子殿下をお迎えし、ジビエ、地元産の野菜、キノコ、信州サーモンといった信州の自然の恵みが振る舞われました。

「記念式典」 八月十二日 上高地バスターミナル

「山の日」当日は、我が国の近代登山の発祥の地と言われ、英国の登山家であるウォルター・ウェストンによって全国屈指の山岳景勝地として世界への扉が開かれた上高地で記念式典を開催しました。

式典には、約四百名の皆様に御出席いただき、青空が広がり、穂高連峰がはつきり姿を現す中、皇太子殿下からお言葉（表紙の写真）をいただいた後、セイジ・オザワ 松本フェスティバル プラスアンサンブルの演奏や宇宙飛行



歓迎レセプションの様子



白鳥バレエ学園による演舞



波田少年少女合唱団による合唱



栃木県(那須町)へ「山の日帽」の引継

八月十一日の午後松本市内で開催された「祝祭式典」では、世界的バレエダンサーである松本市出身の二山治雄さんと白鳥バレエ学園の皆さんによる「山の日」を祝う演舞や、大久保憲一さん(根羽村長)ほかによる「山の恩恵」とともに暮らす人々からの感謝のスピーチをいただきました。また、「山の日」の制定を記念して全国から募集した「山の日」の歌の表彰を行い、波田少年少女合唱団によって合唱され約八百名の参加者と「山の日」の制定趣旨である「山の恩恵に感謝する」思いを強くしました。最後に、次期開催地

「祝祭式典」 八月十二日 まつもと市民芸術館



阿部知事歓迎あいさつ



「山の日」制定記念音楽の演奏



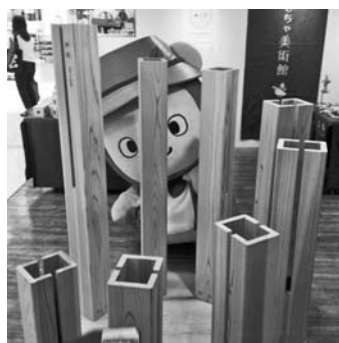
山と共に未来への誓い

士の油井亀美也さん、音楽家の小澤征爾さんそして長野県森林大使のC・Wニコルさんの山に寄せるビデオメッセージの上映を行いました。また、地元の小中学生が「山は私達の宝物。きれいな山、自然や文化を守るために、自分たちに出来ることから始めましょう」と「山と共に 未来への誓い」の宣言を行いました。

木育キャラバンinまつもとを開催しました。

8月10日・11日の2日間にわたり、第1回「山の日」記念全国大会の関連行事として、木育キャラバンを松本駅ビルMIDORIで開催しました。

多くの親子が国産材を使用した木のおもちゃに触れて木のぬくもりを感じていました。



山を象徴する物品として「山の日帽」を引き継ぎ閉会しました。

【おわりに】

第1回「山の日」記念全国大会を通じて、多くの皆様に、山岳県信州の魅力や国土保全、水源かん養、地球温暖化の防止など公益的かつ多様な機能を有する山の価値を改めて認識し、山に対する感謝の気持ちを持っていただけたと思います。

また、全国一の数を誇る本県の「森林セラピー基地」や全国に先駆けて創設した自然保育認定制度「信州やまほいく」、全国で初めてとなる総合的な登山安全対策を定めた「登山安全条例」など、山を多面的に活かした本県ならではの特徴ある取組を全国に発信することができました。

準備段階から御支援・御協力をいただいた企業や団体、環境省・林野庁など国の機関はじめ、多くの皆様方の力を結集して初めての「山の日」を祝うに相応しい全国大会を開催することができました。

【森林政策課】

「山地災害防止キャンペーン」を行いました

—平成28年5月20日～6月30日の取組—

過去を「忘れない」取組

山地災害に対する地域防災力を向上させるため、県内三会場で「森林の防災・減災講座二〇一六」を開催しました。

そのうち、六月三十日に諏訪合同庁舎で開催した第一回は、「豪雨災害から十年—里山の復興と未来—」と題し、平成十八年に発生した豪雨災害の記憶を忘れず、今後の防災・減災に活かすことを目的に、当時を知る元長野県林業総合センター所長の片倉正行氏から「岡谷土石流の発生機構と災害に強い森林づくりについて」を、西山里山の会会長の小口廣明氏から「地域をあげての災害復興と里山づくり」をそれぞれ御講演いただきました。

多くの皆様にご参加いただいたことから、今後も防災・減災に配慮した地域活動や里山づくりが期待されます。



諏訪会場では地域の方を中心に
130人が聴講

左下:小口氏 右下:片倉氏

次世代へ「つなぐ」取組



白馬高校3年生20人が治山工事
の現場を見学

池田町彦沢 (H26完成流路工)

五月二十七日に、池田町彦沢の治山事業の現場へ、白馬高校三年生二十人が訪れました。

生徒の皆さんは、普段あまり見ることのない施設について、工事を担当した北安曇地方事務所林務課職員の説明を、熱心にメモしながら聞いていました。

担当した職員も「高校生への説明は、地方事務所長への説明より緊張した」と言ったとか・・・

ともあれ、防災工事の一端に触れたことは、きっと次世代を担う若者の心のどこかに残るはずです。地域を災害から守る、という意識が世代を超えて脈々とつながることに期待したいと思います。

【森林づくり推進課】





佐々木健司さん（飯田市）が 特用林産功労者表彰を受賞

飯田市の佐々木健司さんが、竹炭生産に関する長年の功績が認められ、日本特用林産振興会の第二十九回特用林産功労者表彰を受賞されました。

佐々木さんは、教員を退職後、豊丘村の障がい者施設で障がい者と向き合う中、村の課題が竹林の整備であることを知る一方、自然の中での仕事が障がい者の精神安定につながるのではとの思いに至りました。

そして独学で竹炭を学び、長年かけて良質の竹炭の生産に成功するとともに、障がい者にも技術を伝授して竹炭の生産を軌道に乗せられました。

佐々木さんの取組は竹炭の生産だけでなく、ペンダント、竹炭まくら等、高付加価値の製品の開発にも力を注ぎ、施設の安定的な経営とともに、障がい者の生きがいの



特用林産功労者表彰式

場へと変革されました。

ここまで至ったのは、佐々木さんご自身の努力だけではなく、佐々木さんの熱意に共感された様々な業界の方々の支援の賜物であるということです。

その名声は各地に広がり、炭窯の築窯から始まり良質の竹炭の製造方法までの指導を依頼されるようになりました。

主なものとして、全国的に有名な山梨県身延竹炭企業組合や、長野県では阿智村竹炭組合かぐやの里での指導があります。またミャンマーにおいても、竹炭の指導を行い約五十基の炭窯を築窯され、指導されました。

佐々木さんの指導の特長は、通り一遍の指導ではなく、生産が軌道に乗るまで継続して指導されるなど、指導を受ける側に立った懇切丁寧なところにあります。平成十八年に「森の名手・名人」に選ばれたのを契機に全国から質問が寄せられた際にも、一つ一つ丁寧に対応されました。

昨年、泰阜村の依頼で炭窯の築窯を指導されました。

これからお体に気を付けられ、ご活躍されることを期待します。

【下伊那地方事務所】



視察対応する佐々木氏(中央)



泰阜村炭窯の築窯 佐々木氏(右)



地域が
主役！

「信州の木活用モデル地域支援事業」が
今年度も動き出しました！

地域が主体となり、里山の森林資源を木質バイオマス利用や商店街の木質化、道の駅等での販売に活用する「信州の木活用モデル地域支援事業」（森林づくり県民税活用事業）の平成二十八年度の実施箇所が左表のとおり決定し、各地で特色ある取組が動き始めています。

これらの活動内容は、改めて別号でご紹介することとし、今回は、平成二十七年年度に実施された二地域の取組をご紹介します。

平成28年度 信州の木活用モデル地域支援事業補助金交付先

事業主体	事業名 (実施地域)	事業概要	(対象事業費) 補助金額(円)
伊那谷 アライアンス (伊那市)	木と巡りあう17 (いな)の物語 (伊那市)	地域材を活用した空き家のリノベーションやコミュニティスペースの木質化により、木が当たり前にある文化・地域をブランディングし、木に囲まれたライフスタイルの提案を行う。	(2,600,000) 2,500,000
産湯桶でウッド ファースト協議会 (南木曽町)	ウッドファースト から木曽五木 に触れる製品開 発 (南木曽町)	産湯桶の開発・普及を行うことにより、伝統技術の桶・樽の技術を後世に引き継ぎ、木曽五木を利用した桶・樽の需要拡大を図る。	(2,500,000) 2,500,000
木曽町	旧上田小学校を 活用した木エ クショップ、木 育キャラバンの 開催 (木曽町)	閉校となった旧上田小学校校舎を、将来的に『木曽おもちゃ美術館』、『木工作家や伝統工芸のシェアラボ』として活用していくための基盤づくりとしての事業を実施する。	(2,500,000) 2,500,000
小谷村キハダ 生産組合 (小谷村)	kihada 黄金の樹 プロジェクト (小谷村)	村内に豊富に存在する広葉樹(キハダ)の有効活用を推進するため、机や木工製品の製作・展示等を通じた普及活動を行う。	(2,500,000) 2,500,000
NPO法人 桶仕込み保存会 (長野市)	OK E (おけ)の わプロジェクト (長野市、木曽町)	木桶を使う文化の再生と桶作製技術の継承を図るため、県産材の大桶等を作製し、桶仕込みのPRを行う。	(2,534,000) 2,500,000
合 計			(12,634,000) 12,500,000

特定非営利活動法人八ヶ岳森林文化の会は、八ヶ岳山麓の豊かな森林の恵みと積み重ねられた森林文化を子供たちの世代に引き継ぐために市民との連携を図りながら森林をより深く理解し、森林を守る活動を行っています。

今回の取組では、多くの市民を招いて当会の吉田山での間伐作業で搬出された材での薪づくり講習会、チェンソークラフト講習会、ウッドチップパーによる森林の歩道整備や、簡易製材機を利用した製材などが行われました。

八ヶ岳森林文化の会では、森林との関わりが薄れ、森林の荒廃が問題になっているなか、森林整備、間伐材の有効活用を今後も積極的に実施し地域の方をもっと森林資源を活用できるよう幅広い活動を目指しています。



ウッドチップパーを活用した歩道整備



チェンソークラフト講習会



簡易製材機で挽かれる間伐材

茅野市「市民の森」 吉田山の間伐材有効活用

特定非営利活動法人「八ヶ岳森林文化の会」の取組

【諏訪地方事務所】



簡易製材機等を活用した間伐材の多角的活用基盤整備事業 〜特定非営利活動法人いいだ自然エネルギーネット山法師の取組〜

昭和三十年代から、里山では間伐等山の整備が行われなくなり、放置されたスギ・ヒノキ林や広葉樹林が点在しています。

また近年、地域の木工クラフト等では板材の確保に苦勞し、多くを中京方面から調達していますが、放置された里山の木材を板材として提供すれば、山の整備も促進されます。

そこで、特定非営利活動法人いいだ自然エネルギーネット山法師では、板材の加工処理のための簡易製材機等の購入や間伐材の集積・加工棟施設の整備、南信州間伐材活用フェアの開催に取り組みました。三月に開催された同フェアには予想以上の来場者があり、間伐材の活用についての有効なPRができました。

今後、板材等の安定供給のために、さらに施設整備等を進めながら、関係団体と連携を図り、引き続き取組を継続していく予定です。

【下伊那地方事務所】



南信州間伐材活用フェアで展示した創作木簡



簡易製材機を利用した板挽きの様子

平成二十八年度長野県きのこ品評会 並びに 長野県きのこ料理コンクールを開催します

きのこの生産技術並びに品質の向上と消費の拡大を目的に、県内で生産されるきのこのを一同に集めた「長野県きのこ品評会」を今年も開催いたします。生産者の皆様には、日頃の取組の成果を発表する場として、是非とも出品をお願いいたします。

併せて「長野県きのこ料理コンクール」を開催いたします。優秀作品に選ばれた方は全国大会へ出場いただけます。

料理ができる方なら、どんなでも参加できますので、皆様からのアイデアあふれるきのこ料理の出品をお待ちしています。



- 期 日 平成二十八年十月二十一日(金)〜二十三日(日)
- 場 所 長野市若里ビッグハット(多目的スポーツアリーナ)
- 出品の申込み 平成二十八年九月二十六日(月)までに最寄りの地方事務所林務課へ申込み
- 主 催 信州きのこ祭り推進協議会(会長 阿部守二)
- 問合せ先 長野県林務部信州の木活用課

電話 026-1235-7267 (直通)

平成二十八年度の取組について

林野庁中部森林管理局木曽森林ふれあい推進センター 所長 新家 孝之

当センターは、木曽谷の国有林を主なフィールドとして森林環境教育と自然再生を主な業務としており、県内外の皆様に見学会・林業体験などを行っています。今回は、当センターの平成二十八年度の主な取組について紹介します。

今年度の新たな取組の一つに「パズルラリー」があります。

木曽地域への誘客及び森林散策の普及対策として、木曽路ナチュラルトレッキングマップを活用し、木曽地域にある散策路の十二カ所に置いたパズルのピースを集め、自然豊かな森林や散策路に親しんでもらうことを目的として開催しています。このパズルは、木曽街道



パズルラリーご一行様

の浮世絵を地元産ヒノキ間伐材の板にカラー印刷したものを六分割し各町村に一ピースを置き、木曽地域の六町村を巡らないと絵は完成しません。全十二カ所制覇された先着一〇〇名様には、はがき大の地元産ヒノキ間伐材の板にカラー印刷した木曽街道の浮世絵をプレゼントしています。この木曽路コースについては五〇〇セット用意し、平成二十九年十一月十二日まで

開催していますが、パズルがなくなり次第終了となります。赤沢自然休養林内でラリーが完了する普及版として、木曽式伐木運材図を六分割のピースにしたものも同時開催しておりましたが、予定の六〇〇セットが好評により四月下旬の開始から二ヶ月で終了してしまいました。

また、「中央アルプス木曽側の高山帯におけるニホンジカの調査」を新たに実施するほか、例年開催している木曽地域の教職員を対象に森林・林業の役割や森林環境教育の重要性についての認識を高め、森林環境教育を学校教育の中に取り入れていただくことを目的とした「森林・林業学習会」、名古屋市中心とした都市住民の方々に、木曽川源流の国有林を訪ねて、木曽地域の林業のあり、木材の輸送方法等見ていただく「木曽の国有林見学会」等々を行って、森林環境教育と林業活動が普及していくことを目指して取り組んでいます。



森林・林業学習会(ひのきを見上げる)

10月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売日
開設49周年記念市 10月22日(土)	創立61周年記念 第32回日本美林まつり 10月25日(火)	10月11日(火) 10月26日(水)	10月12日(水)

入札物件紹介・入札結果はホームページで掲載
※本市売は、これまでの木曽地区国有林の公売に代わるものです。

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曽官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

荻原事務所：長野県木曽郡上松町荻原字中島1431-1

やぶ原土場：長野県木曽郡木祖村荻原844-1

坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1

☎0264-52-2483(代)

☎0264-24-0085(代)

☎0573-75-3178(代)

理事長 野村 弘

本部事務所：長野県木曽郡上松町正島町2-45

☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

FAX0264-52-4885

FAX0264-24-0086

FAX0573-75-3172

林業の担い手

～県内認定事業体で働く
若き現場技能者たち～

成熟期を迎えた森林の現場作業は、大径木の伐採や高性能林業機械作業が多くなってきました。そのような現場で働く若き担い手をご紹介します。今回は佐久穂町の株式会社吉本です。【長野県林業労働財団】



つばい わたる
坪井 巨さん

年齢 31歳
林業経験 1年7ヶ月

◇趣味◇
スノーボード



こやま しんじ
小山 真司さん

年齢 29歳
林業経験 2年8ヶ月

◇趣味◇
野球
スノーボード

思いどおりの伐倒、最高

林業に就職してみても、自分がイメージしていた仕事とは違い、とても大変でやりがいのある仕事だと思いました。入社当初は重いチェーンソーを背負って山に登るだけでヘトヘトになり、普通に登っていく先輩たちの背中を見て、自分の体力のなさに、情けなくなりました。伐採では自分の倒したい方向に木を倒すことに苦戦したり、ツルがらみの木の恐怖を味わいました。逆に、自分の思いどおりに伐倒できた時は最高に嬉しいです。

今後多くの経験を積み、どんな場面でも活躍できるオールラウンダーを目指したいです。また、林業はケガが多い仕事なので焦らず確実にを行い、「ケガをしない」「させない」をモットーに日々精進します。



機械の操作はおもしろい

共同就職説明会で今の会社から話を聞き、地元南佐久には良質な木が多いことを知り、地元に着した面白そうな仕事だなどとても興味が湧き、就職しました。

実際に働いてみると夏は汗だくでフラフラになり、冬はとても寒く正直、身体に堪える仕事でした。でも、機械の操作はおもしろく、チェーンソーを使っている伐採はとても奥が深く楽しい仕事です。同じ山の中でも1本として同じ木はないし、同じ条件の地形は絶対になく、常に新しいことの連続なのが林業の魅力だと思います。ただ、危険な仕事のためどんな危険があるかを常に考えながら作業をしています。一番大切なのは安全な仕事をするのだと思っています。今後はもっともっと経験を積んで、どんな仕事も任せてもらえるような人を目指します。

事業主コメント

株式会社吉本 代表取締役 由井 正隆さん



明治43年の創業以来、百年を超える社歴を数えまします。幾多の変遷を経て、林業と同様社歴が長くなりました。近年、林業の現場は国内林産資源の充実と共に、急激な機械化が進み、若者が活躍できる舞台が整いつつあります。若者が持つ力をフルに発揮でき、将来に夢を持ち、プライドを持って働ける林業現場づくりに努力しています。最大の課題は安定した仕事量の確保と安全な職場づくりです。

株式会社 吉本

所在地 南佐久郡佐久穂町平林121番地
設立 明治43年4月
体制 役員4名 従業員47名
勤務時間 8:00～17:00
主な業務 丸太・杭丸太の生産販売、製材工場運営、森林整備業務請負、観光ブルーベリー園の運営 等





山の日制定記念 山の恵み盛りだくさん!

木材市場にあそびにおいでよ!

第4回『森の恵みふれあい祭り』

平成28年8月6日(土)、もく
りゆう館(安曇野市)において『森
の恵みふれあい祭り』(主催:松
本広域森林組合、長野県森林組合
連合会、信木材センター、後援:
中信森林管理署、安曇野市)が開

催されました。

今年で第4回目を迎える本イベ
ントですが、木材センターに馴染
みのない一般の方々に木材セン
ターを訪れていただき、林業や木
材を身近に感じていただくことを
目的として開催しています。

本年は『山の日制定記念』とし

ても開催され、恒例となっている

板材一点物の特価販売、木材市場
見学バスツアー、ふれあい木工
コーナー、安曇野菜園トマトの無
料配布、大型薪割木の薪割実演等
様々な体験や実演、出店、さら
は、地元の皆様による上長尾獅子
舞保存会の獅子舞披露、三郷義民



親子で楽しいヒノキ子供椅子づくり



安曇野産アカマツを使った
椅子・プランターカバーづくり



大人気!ヒノキのmy箸づくり



いい音ならそう!森のカスタネットづくり



木曽の楽器メーカー作製のギター



ヒノキボールはおもしろいなあ!
ヒノキボール&かんな屑プール



上長尾獅子舞保存会による獅子舞披露



トラスケールで重さあてクイズ 目方でドーン



三郷中学校吹奏楽部演奏会



三郷義民太鼓の演奏



県産材も使ってる楽器バンドと三郷
中学生によるアドリブセッション



職員有志による県産材も使ってる
楽器バンドのミニライブ

太鼓の演奏、三郷中学校吹奏楽部演奏会が行われイベントを盛り上げてくださいました。
今回は、300名を超える方が来場され、お子様連れの方も多くお見えになりました。このイベントを通じて夏休みの思い出づくりと、木材や林業に親しみをもちいただけることを願っています。

次代の森林組合を担うために 森林組合初任者実務研修会

8月8日(月)から10日(水)にかけて、林業センタービル(長野市)において、森林組合初任者実務研修会(主催:長野県森連)が開催されました。

この研修会は系統組織の健全な発展に資するため、組合運営上に必要な実務的知識の涵養を図ることを趣旨とし、森林組合の初任者職員並びに研修内容について研鑽を積みたい者を対象として行われました。

本年は、県下森林組合から15名が、2日目以降は県職員の方11名も受講されました。



滝澤専務のあいさつ

研修1日目は、県林務部信州の木活用課・上野亮介氏より「森林を取り巻く状況」について、J A 長野中央会・新井千恵子氏より、身だしなみや挨拶、敬語、電話対応といったビジネスマナーの基礎知識について講義をいただきました。



互いのお辞儀を確認する研修生

さらに2日目以降、当会監査士より「森林組合職員として求められるもの」、森林組合の会計として「簿記の基礎」、「消費税」、「指導事業」、「販売事業」、「森林整備事業」、「事業管理費、事業外、特別損益、決算関係」について講義が行われました。

受講された方々は、今回の研修で扱った基礎的な事項をもとに、実際の業務で何らかの疑問が生じ

たときはテキスト等を参考にしてください、森林組合職員として今後一層の活躍をされることを期待しています。

(県森連・指導部一同より)

「山の日」制定 記念市の開催

県下木材センターでは8月初旬、「山の日」制定を盛り上げる記念市を開催しました。この記念市には、中部森林管理局様より優良材を多数出品いただき盛大に執り行うことができました。

多数出品いただいた出荷者の皆様、市を盛り立ててくださった買い手の皆様に厚く御礼申し上げます。



そろいの法被で盛り上げる中信木材センター
「山の日」制定記念市

長野県の木材市況

平成二十八年九月十日発行 長野の林業通巻三二〇号

発行長野の林業編集委員会
事務局 長野市岡田町長野県林業センター内
(社)長野県林業普及協会
(社)長野県林業センター

電話〇二六(二二七)五〇一五
電話〇二六(二二六)五六二〇
Eメール Nagarin-center1@q33.so-net.ne.jp
Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp

第977回 市売市況表

(平成28年 8月26日実施)

長野県森林組合連合会

TEL0265-72-2684

伊那木材センター

Fax 0265-76-8759

○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	気配	備考
ひのき	3.0	直	14~16	11,000	7,000	-	全体的に直材の良材に引き合いあり。 4mは土台および桁どりに心掛けて下さい。 6m材はピン直に限りです。 伐採予定の方連絡下さい。
		直	18~22	14,000	12,000	-	
	4.0	直	14~16	13,500	12,000	-	
		直	18~22	15,000	13,500	-	
		曲	18~22	12,000	10,000	-	
		直	32~34	25,000	18,000	-	
	6.0	元	36~38	26,500	19,000	-	
		直	18~20	20,000			
	3.0~4.0	込	20~34	30,000	13,000	-	
				(1本) 200,000		-	
げやき	2.0		84			-	細曲材は売りにくい。
からまつ	4.0	直	18	13,000	10,000	-	材不足しています。出材お願い致します。
		曲	20上	12,000	11,000	-	
あかまつ	4.0	直	14~16	8,000	4,000	-	矢板材の需要あり。伐採予定の方はご連絡下さい。
		曲	24上	11,000	8,500	-	
すぎ	3.0	直	14~16	9,000	4,000	-	3m材は売りづらい。 4m材は直材(良材)に需要あり。
		直	20~22	8,000	4,000	-	
	4.0	直	24~28	12,000	7,000	-	
		元	30上	14,000	7,000	-	
		直	30	13,000	7,000	-	

出品量 1,900㎡ 販売量 1,890㎡ 落札率99% 買い方 36社

国有林のひのきが多量に出品されて応札が活発な市になりました。材木の搬入が混み合う時期になりますので、降ろし場所の指示に協力をお願いします。また、今の時期に伐採した木材は皮が剥がれやすく、皮の剥がれた材は乾燥して干割れをしてしまいますので、伐採には注意して出品してください。なお、当センターは11月22日に記念市を開催しますので良材の出品を宜しくお願い致します。

出材には合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出材時にはその都度、合法認定番号および伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。

第1010回 市売市況表

(平成28年 8月24日実施)

長野県森林組合連合会

Tel 026-295-5546

北信木材センター

Fax 026-295-5547

○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000		柱材需要あり。直造材でお願いします。 直造材でお願いします。 需要あり。出品願います。 出品願います。 出品願います。 直造材で出品願います。 伐採前にご相談ください。 細物直造材を心がけて下さい。 直造材でお願いします。 需要あり。直造材を心がけて下さい。 需要あり。積極的に出品願います。 需要あり。積極的に出品願います。 伐採前にご相談ください。
		直	20上	13,000	10,000		
	4.0	込	8~13	5,500	4,500		
		直	14~20	12,500	9,500		
		直	22~28	13,500	10,000		
		直	30上	16,000	10,000		
	5.0	曲	14~18	6,000	4,000		
		曲	20上	11,000	7,000		
	3.0	直	30上	18,000	12,000		
		込	9~13	9,500	6,000		
からまつ	4.0	直	14~18	11,000	8,000		直造材でお願いします。 需要あり。直造材を心がけて下さい。 需要あり。積極的に出品願います。 需要あり。積極的に出品願います。 伐採前にご相談ください。
		込	6~13	11,000	6,000		
	5.0	直	14~18	12,500	9,000		
		直	20上	18,000	11,500		
		曲	14~18	5,100	5,000		
ひのき	3.0	直	20上	12,500	10,000		直造材で出品願います。 直造材で出品願います。 直造材で出品願います。 直造材で出品願います。 直造材で出品願います。
		直	22上	12,500	10,000		
	4.0	直	22上	21,000	12,000		
		直	16~18	15,000			
		直	20上	16,500			
からまつ	3.0	直	16~18	15,000			直造材で出品願います。 直造材で出品願います。 直造材で出品願います。 直造材で出品願います。 直造材で出品願います。
		直	20上	20,000			
	4.0	直	20~28	20,000			
		直	30上	22,000			
		曲	20上	16,000			
ひのき	2.0	込	22	62,000			1本単価

出品量 3,963㎡ 販売量 3,927㎡ 落札率 99.1% 買い方 39社

今回は、台風の間の晴天の中、多くのお客様にご来場いただき盛大な市売りとのことができました。
市況といまして、スギ・カラマツともに、全体的に引き合いが強く、需要回復を予感させる結果となりましたので、積極的に出荷をお願いします。あわせて、良材についての問合せも増えておりますので、造材の検討をお願いいたします。
また、広葉樹・アカマツについても、需要が出てきておりますので、秋口をめどに出荷いただけるよう準備をお願いします。
なお、当センターは、10月25日に記念市を開催いたします。この時期にあわせて良材をご出品いただきたいと思いますので、ぜひともご協力をお願いいたします。
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず「合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の」納品書」の提出をお願いします。

第979回 市売市況表

(平成28年8月25日実施)

長野県森林組合連合会

Tel 0263-77-2347

中信木材センター

Fax 77-2349

○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	12,000	9,000		3.0m×14~18cm柱取り引き合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
	4.0	直	30~48	16,000	11,000		
ひのき	3.0	直	20上	16,000	13,000		材不足していますが並材値段横ばい。
	4.0	直	20~28	18,000	14,000		
からまつ	4.0	元	36~48	28,000	20,000		材不足しています。ご出品お願いいたします。
		込	6~13	10,000	8,000		
		直	14~18	10,000	8,000		
		曲	20上	13,000	12,000		
あかまつ	4.0	曲	14~18	8,000	5,000		需要期過ぎ価格低迷。この先、梁長材に需要あり。伐採予定がある場合はお問い合わせください。
		曲	20~40	10,000	7,000		
		直	18~24	12,000	8,000		
かえてくりイチイ	4.0	込	26上	13,000	11,000		広葉樹、応札活発ご出品下さい。
		直	18~34	65,000		○	
	2.0~4.0	込	16~50	38,000	18,000	○	
イチイ	4.0	込	24~36	103,000		○	
		直					

出品量 3,539㎡ 販売量 3,355㎡ 落札率 95% 買い方 37社

盆休みがあり前回市売との期間が普段より短い中、たくさんの出品ありがとうございました。秋に向けて需要も見込まれると思いますので引き続き出品をお願いします。又、この時期はまだまだ材が傷みやすいため早めの出材をお願いするとともに、剥皮しやすいので測尺(延べ寸等)に気をつけて造材をお願いします。

尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと伐採現場名および合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第478回 木材共販市況表

(平成28年 8月23日実施)

出品量 1,550㎡ 買い方 15社・落札率 90.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考
ひのき	2.0		18~32	12,000	8,000	2,240	
	3.0	直	14	9,000	8,000	2,240	
		元直	16	17,500	14,000	3,920	
	4.0	込	18~22	22,500	16,500	4,620	
		込	24~28	20,000	15,000	4,200	
		中込	16~22	16,000	13,000	3,640	
		込	24~28	15,000	12,500	3,500	
	6.0	元	30上	32,500	18,500	5,180	
		元直	16~22	24,500	16,500	4,620	
	4.0	元	24~28	23,000	16,500	4,620	
すぎ	4.0	直	30上	35,500	23,000	6,440	一本売り
		中直	12~14	9,000	8,000	2,240	
	6.0	込	16~22	15,000	13,500	3,780	
		込	24~28	17,000	13,000	3,640	
	4.0	直	18~22	28,000	20,000	5,600	
		直	12下	360	300		
	4.0	込直	16~18	8,500	7,500	2,100	
		込直	20~22	10,500	9,000	2,520	
	3.0	直	24~28	11,500	10,500	2,940	
		直	30上	15,000	12,500	3,500	
からまつ	3.0	直	18~22	8,000	7,500	2,100	一本売り
		直	24~32	8,000	7,500	2,100	
	4.0	直	14~22	5,000	4,500	1,260	
		込	12~14	5,500	5,000	1,400	
	4.0	込	16	8,000	5,000	1,400	
		込	18~28	10,000	8,000	2,240	
	小曲り	直	30上	15,000	9,000	2,520	
		直	14~30	5,000	3,500	980	
	4.0	直	12下	400	300		
		直	18~24	20,000	15,000	4,200	
より	4.0	直	18~24	28,000	20,000	5,600	

総評
ひのき、引き続き出荷量少なく低調、価格は伸ず。すぎは、価格は横ばい。全体に量、質とも低調。今後の出荷に期待します。出荷協力いただきありがとうございました。